

新十二支会例会（龍仙山）参加と伊勢山上、御在所岳

◇実施日 1月7日（日）～9日（火）

◇参加者 沖崎吉信、大江加予子・徳子、畑林清子、高階美根子、

梶野照雄、田中稔昭、椎木堯、茂原治（7日）、上村洋  
司・和美（7、8日）

【岐阜】堀義博、高木基揚、今峰正利、長屋桂子、野村百合子、林  
真由美、山里里美【千葉】石岡慎介【東京】池田真由美、清水千  
枝子【山口】伊藤禎洋、野原龍夫【九州】日向祥剛、飯田勝之・  
ひとみ 26名

元日には能登半島で大きな地震があり、多数の死傷者が出た。続  
いて2日には羽田空港で航空機同士が衝突する事故があり、波乱  
の令和6年のスタートとなった。

【1月7日】

南伊勢町の「ニュー浜口屋」に集まり前夜祭に臨む。  
堀会長の挨拶で始まったが「私は石川県輪島市の出身で、地震で  
実家かなりの被害を受けた。また、この会の常連で石川県の太  
田儀一氏（91歳）が1月5日に交通事故でお亡くなりになっ  
た。」と悪い知らせが続いた。いつもは乾杯するのだが、献杯の  
後黙とうを捧げ、歌も慎み静かな前夜祭となった。



南伊勢の海



例会参加者



二次会

【1月8日】

茂原先生は早朝に帰宅された。午前8時15分、宿を出て南伊  
勢病院の駐車場に向かう。8台の車の内3台を駐車場に残し、5  
車で登山口に向かう。登山口の駐車スペースは昨日宿に向かう前  
に確認している。先客があれば5台が駐車できないと心配してい  
たが、駐車車両は無く5台がきっちり収まった。

ここから舗装された農道を約700m歩き、登山道を30分ほ  
ど登れば山頂に着く。ご高齢の石岡さんはゆっくりとしたペース  
で、少々遅れ気味だ。沖崎が一緒に歩き、途中で一回休憩したが  
5分ほどの遅れで山頂に到着した。全員が登頂し、山頂標識を立  
てて石岡氏の音頭で万歳。今年の慶祝者、伊藤、野原、上村のご  
三方にお祝いを贈呈し恒例行事を滞りなく終えて下山する。山頂  
下の不動明王、役行者で今年の登山の無事を祈願のため沖崎、椎  
木で心経を唱えさせて頂いた。



登山口へ向かう



山頂で万歳



登頂した方々

南伊勢病院の駐車場に戻り堀会長から挨拶があり解散となった。来年の山はまだ決まっていらないようだった。今回も大江さんはサンマ寿司を全員に配ってくださった。25人分の調理の手間と出費に感謝だ。

この後今日の宿泊地である湯の山温泉に向かうのだが、5時間位余裕があるので朝熊山へ寄るか、と考えていたが、めったに来る事がない伊勢山上（飯福田寺、松阪市）に行くことにした。

大峰の山上ヶ岳と同じような行場のある修験道のお寺だ。山彦7名と事前にお誘いしていた伊藤、野原、椎木の3名が加わり10名での山彦オプシヨントツアーとなる。

### 伊勢山上

玉城インターから松阪インターまで高速道路を走り、伊勢山上の案内通りに車を進める。地図上では12km程だが堀坂峠の道幅が狭

く、スピードは出せない。道路はきれいに掃除されていて、落石や枯枝も皆無だった。飯福田寺の駐車場から200mほど歩いて寺に着く。



飯福田寺山門



行場へ向かう



油こぼしのクサリ場

梶野、椎木の2人で行場巡りを申し込んだ。残りの8名は境内で昼食を摂り湯の山温泉に向かう。住職から行場の説明を受け、靴までチェックされた。本堂前の石段を上がった薬師堂横から行場に向かう。行場入り口には鳥居があり、神仏習合の名残が判る。

少し登ると最初の行場「油こぼし」の岩場が現れる。20級のクサリ場で岩に窪みは少なく、見た目はちょっと登りづらい。しかし足を置いてみると全く滑らずクサリを頼りにすると簡単に登ることが出来る。登ると少しトラバースし岩屋本堂が現れる。このお堂で戸開と戸閉式が行われるようだ。お堂の右手が「鐘掛」で、クサリが無いオーバーハング気味の岩を登る。ここがこの行場の一番厄介なところで、距離は短いが注意が必要なところだ。

「鐘掛」を登ると下方に通ってきた道路が見えた。数人が手を振ってい

る。お寺で行場が見える」と聞いて「やっきたぞうだ。



お堂の脇を登る



手を振るメンバー



尾根を歩く



再び岩場が続く



行場案内図



岩場の連続した行場を過ぎると尾根道になり、小天井、大天井と続き、再び岩場となり亀石、鞍掛岩、蟻の戸渡が続く。平等岩を最後に

露岩の岩場は終了。100数十段の石段を下りてお寺に戻った。この間1時間30分だった。住職から裏行場を勧められ、裏行場に向かう。お寺から1500ほど戻った対岸に裏行場の入り口がある。鳥居のすぐ前に10程の岩斜面があり、クサリが付けられている。この岩も表行場と同じ岩質で簡単に登ることが出来る。登りきると獅子ガ鼻と名付けられた大きな露岩の上に出る。この岩の北端にクサリがあり、およそ100を下り裏行場は終了。車まで戻って湯の山温泉に急いだ。裏行場は30分だった。

記：梶野



裏行場入り口



湯の山温泉



8人が湯の山温泉着後、午後5時前には梶野、椎木の二人も到着し、午後6時から10名で楽しいひと時を過ごした。

【1月9日】

初めての山、初めてのロープウェイに乗る。全長2161m、標

高差780mで、なかなかすごいものである。15分の乗車で山頂駅に着く。山頂域は晴天で風も弱く、一昨日降ったという雪が20cmほど積もっている。山頂三角点迄リフトも可としていたが、好天につられ全員が歩いて向かった。積雪直後でアイゼンも必要なく、周りの景色を楽しみながら30分で山頂に着く。



ロープウェイ乗り場

15分で山頂駅

新雪を歩く

山頂からは360度の絶景で、鈴鹿山系は勿論、遠くに御嶽、乗鞍も見える。条件次第で富士山も見えるようだ。

万歳、集合写真で15分ほど滞在し引き返した。宿の前がロープウェイ乗り場だったので思いのほか早く下山できた。山頂レストランでコーヒーや生ビールを頂き午前11時過ぎに車に戻り解散。

広島、山口のお三方を近鉄の湯の山温泉駅までお送りし帰宅した。

新十二支会は年配の方も多く登る山は限定されるが、皆さんそれぞれ過去のキャリアをお持ちである。色々とお話を聞き、交流を持つことは大事だ。波乱の幕開けとなった令和6年だがこの

先何事も無く平穩に経過することを願うばかりだ。

(記；沖崎)



御在所岳山頂で

山頂遠景

下山

### 行動タイム

【1月8日】08:15 ニュー浜口屋↓09:00 駐車地↓09:55 龍仙山  
山頂 10:25↓11:10 駐車地↓11:20 南伊勢病院駐車場↓12:40 飯  
福田寺↓13:00 行場巡り 14:25↓14:44 裏行場↓15:15 飯福田寺  
↓16:54 湯の山温泉

【1月9日】ロープウェイ湯の山温泉駅 09:00↓ロープウェイ山  
上公園駅 09:17↓09:53 御在所岳山頂 10:05↓10:30 ロープウェ  
イ山上公園駅↓11:25 ロープウェイ湯の山温泉駅